

1. 体制

居宅介護支援センターみすみは、常勤スタッフが1名増員となり、介護支援専門員2名体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、また、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設などと連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

2. 実績

(表-1)

期間	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
実績	契約者数	35	35	33	36	36	37	38	39	39	38	37	38	441	
	新規契約者数	0	0	0	3	0	1	2	1	0	0	1	1	9	
	契約解除(死亡、入所など)	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	6	
	実績者数	34	32	32	34	34	34	36	37	37	35	35	35	415	
	未実績者数(入院等)	1	3	1	2	2	3	2	2	2	3	2	3	26	
	相談件数	6	8	10	6	4	13	10	9	9	3	14	8	100	
	介護保険申請代行	0	2	3	2	2	2	1	4	2	0	3	4	25	
	カンファレンス担当者会議	12	3	9	9	8	4	12	6	9	8	8	10	98	
	居宅訪問回数	29	26	27	36	23	29	38	33	33	24	35	40	373	
	当院訪問リハ紹介数	8	8	8	7	7	6	8	7	7	7	7	7	87	
	当院通所リハ紹介数	12	9	9	8	8	7	10	12	12	12	12	10	121	
	契約者(市町村)	宇城市	10	10	9	11	11	12	13	13	13	13	13	14	142
		上天草市	23	23	23	24	24	23	24	25	25	23	23	23	284
天草市		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	

2020年度の延べプラン作成件数は415件で、前年度より28件増加し、入院者などの未実績者が26名であった。また、要介護認定変更による暫定プラン作成は3件であった。実績者数は月33名以上を維持することができ、月平均は34.5名で目標を達成することができた。次年度は2名体制となったため契約者数を伸ばしていきたい。

相談・介入依頼は100件で、家族・本人からの相談、関係機関からの依頼が多かった。内容としては、介護保険の申請・更新手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は25件（新規・更新・変更）であった。

契約者の地域別の割合としては、半数以上が上天草市大矢野町で（宇城市32%、上天草市65%、天草市3%）、男女比で見ると女性が20%も高かった（男性40%、女性60%）。

要介護度別に見ていくと、要介護度2・3が全体の半分（55%）を占めており、また、介護度が重くなるにつれ在宅生活は厳しくなっていくが、要介護度4・5も約3割（28%）を占めた。

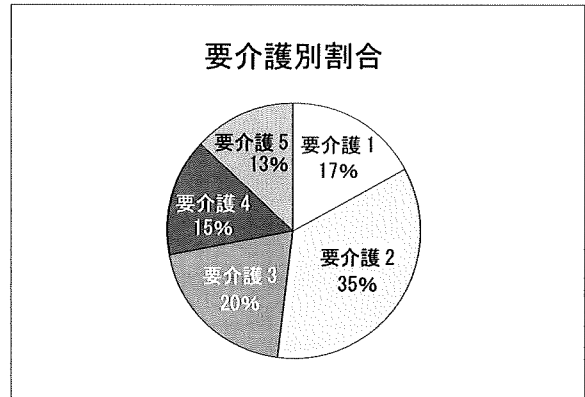
(グラフ-1) 要介護別割合

契約解除者は6名で、理由としては死亡が4名、在宅復帰が

困難で病院への長期入院で1名、在宅生活が困難になり特別養護老人ホームに入所した方が1名であった。

世帯別で見ると単身世帯5%、夫婦二人暮らし（老老世帯）らしの世帯が33%、家族同居世帯が42%、有料老人ホーム入所者が20%であった。日中家族が不在となり一人で過ごされる世帯や、介護者が病気で体調を崩され在宅での介護が困難となり施設へ入所された事例があった。

(グラフ-1)



3. 次年度の計画

2月より介護支援専門員2名体制で実働している。受け入れ体制がスムーズとなり院内併設事業所としての強みを活かし、医療・介護の連携を図り在宅復帰や在宅生活への支援・サポートを安心して受けて頂けるよう努めていく。

また、業務内容やマニュアルなどの改善、利用者・関係者への満足度調査を実施し「安心安全な在宅生活の支援」の見直しを図り、仕事の質を見つめ直していきたい。